

鋳工業指数参考図表集
(平成28年10月速報)

平成28年11月30日

経済解析室

URL : <http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

平成28年10月の鉱工業指数(速報)各指数の状況

生産・出荷・在庫・在庫率指数

月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	98.5	98.5	108.6	113.9
前月比	0.1%	2.2%	-2.1%	-0.9%
指数水準	H27.4 98.9以来 I H20.2 117.3 II H20.1 117.0 III H20.3 116.2	H27.10 98.6以来 I H20.1, 2 118.2 II H20.3 118.1 III H20.5 116.4	H26.4 106.7以来 ①H23.3 97.7 ②H22.8 98.3 ③H21.12, H22.9 99.1	H28.8 113.6以来 ①H20.2 94.6 ②H20.4 95.9 ③H20.5 97.0
前月比の動き	3か月連続+ (H28.8~当月)	2か月連続+ (H28.9~当月)	2か月連続- (H28.9~当月)	2か月ぶり- (H28.8以来)
前月比幅	H28.9 0.6%以来 I H23.5 6.8% II H21.4 4.4% III H23.6 4.2%	H27.10 2.6%以来 I H23.6 8.0% II H23.5 5.6% III H22.1 4.3%	H28.7 -2.4%以来 ①H23.3 -5.8% ②H21.2 -3.9% ③H21.3 -3.1%	H28.8 -3.2%以来 ①H23.6 -11.7% ②H21.6 -6.7% ③H21.3 -6.0%
前年同月比(原指数)	-1.3%	-1.8%	-3.0%	0.8%
前年同月比の動き	3か月ぶり- (H28.7以来)	3か月ぶり- (H28.7以来)	4か月連続- (H28.7~当月)	3か月ぶり+ (H28.7以来)
前年同月比幅	H28.7 -4.2%以来 ①H21.2 -37.2% ②H21.3 -32.7% ③H21.4 -30.0%	H28.7 -4.0%以来 ①H21.2 -36.1% ②H21.3 -32.1% ③H21.1 -30.9%	H26.2 -3.2%以来 ①H21.12 -17.6% ②H22.1 -16.8% ③H21.11 -16.4%	H28.7 4.0%以来 I H21.2 64.6% II H21.1 54.8% III H21.3 47.9%

(注) I~IIIは22年基準における最大値から上位3位まで、①~③は最小値から下位3位までの数値

平成28年10月の鋳工業生産の基調判断

「生産は緩やかな持ち直しの動き」

基調判断の推移

- ・平成26年9月～11月
「生産は一進一退」
- ・平成26年12月～平成27年4月
「生産は緩やかな持ち直しの動き」
- ・平成27年5月～7月
「生産は一進一退」
- ・平成27年8月
「生産は弱含み」
- ・平成27年9月～平成28年5月
「生産は一進一退」
- ・平成28年6月～平成28年7月
「生産は一進一退だが、一部に持ち直し」
- ・平成28年8月～
「生産は緩やかな持ち直しの動き」

鋳工業生産指数

四半期ベース

(平成22年=100、季節調整済)

	指数	前期比 (%)
平成27年 Ⅲ期	97.0	-1.0
Ⅳ期	97.1	0.1
平成28年 Ⅰ期	96.1	-1.0
Ⅱ期	96.3	0.2
Ⅲ期	97.6	1.3
Ⅳ期	(101.2)	(3.7)

(注)

上記の平成28年Ⅳ期の()及び右表の平成28年10月、11月の()内の数字は、製造工業生産予測指数の伸び率をそのまま鋳工業生産指数の最新月に適用して、機械的に計算したものである。製造工業生産予測指数は、鋳工業指数の対象のうち一部の企業に対して、今後の生産計画を調査したものの。

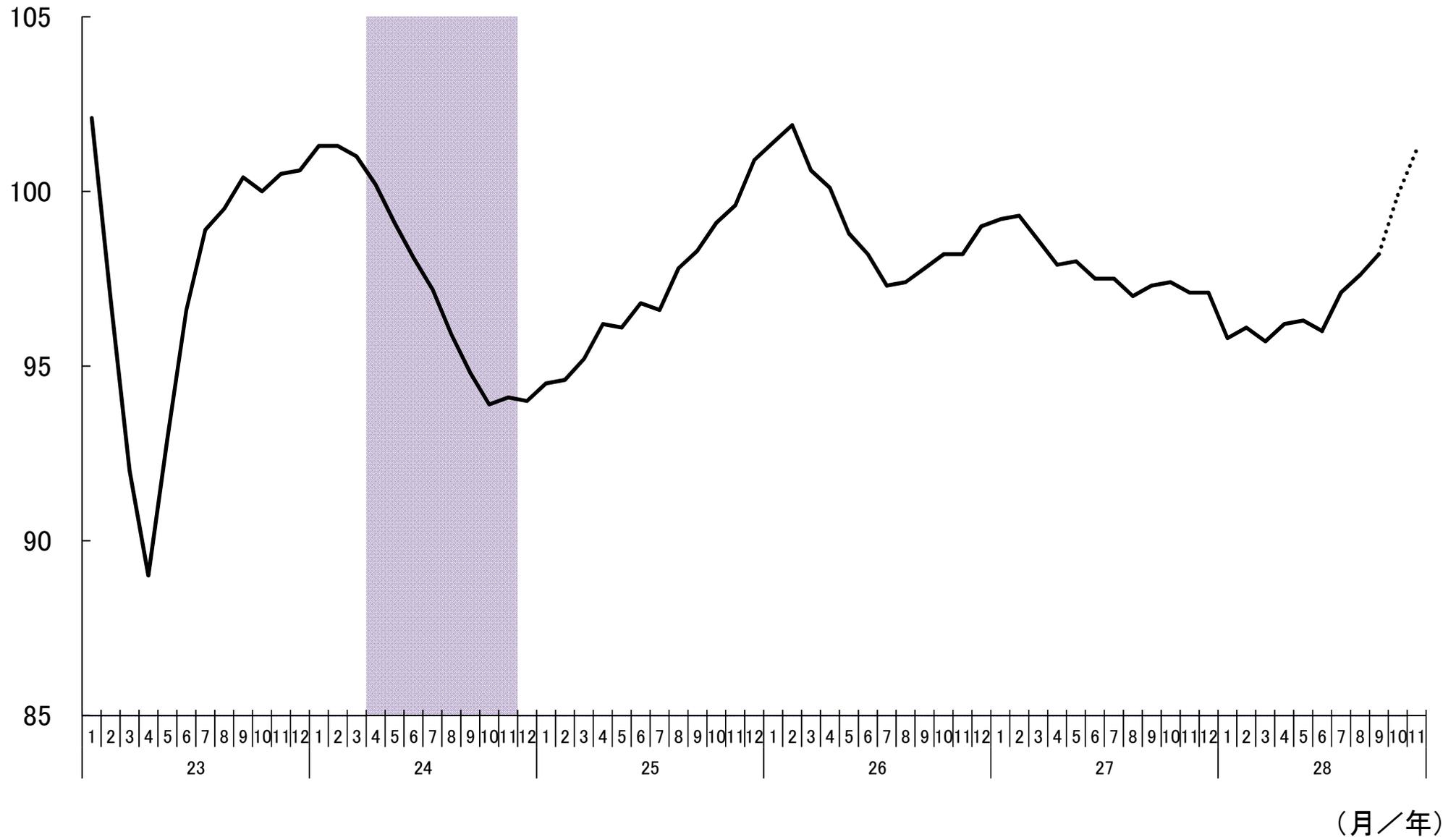
月次(3か月移動平均値)ベース

(平成22年=100、季節調整済)

	指数	前月比 (%)
平成26年 11月	98.2	0.0
12月	99.0	0.8
平成27年 1月	99.2	0.2
2月	99.3	0.1
3月	98.6	-0.7
4月	97.9	-0.7
5月	98.0	0.1
6月	97.5	-0.5
7月	97.5	0.0
8月	97.0	-0.5
9月	97.3	0.3
10月	97.4	0.1
11月	97.1	-0.3
12月	97.1	0.0
平成28年 1月	95.8	-1.3
2月	96.1	0.3
3月	95.7	-0.4
4月	96.2	0.5
5月	96.3	0.1
6月	96.0	-0.3
7月	97.1	1.1
8月	97.6	0.5
9月	98.2	0.6
10月	(99.9)	(1.7)
11月	(101.2)	(1.3)

参考：鋳工業生産指数（3か月移動平均値）の動向

(22年=100、季節調整済)



(注) 紫色のシャド一部分は、景気後退局面。

平成28年10月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（業種別）

		業種・品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を上昇方向へ引張った3業種の中で上昇への影響度が大きい2品目	1位の業種	電子部品・デバイス工業	4.6%	360.2%
	品目	電子部品	4.2%	164.4%
		集積回路	4.6%	136.7%
	2位の業種	金属製品工業	3.2%	117.1%
	品目	建設用金属製品	24.4%	135.3%
		その他の金属製品	1.3%	19.2%
	3位の業種	輸送機械工業	0.6%	114.7%
品目	乗用車	2.3%	175.7%	
	二輪自動車	27.1%	27.2%	
鉱工業生産を低下方向へ引張った3業種の中で低下への影響度が大きい2品目	1位の業種	はん用・生産用・業務用機械工業	-1.6%	-241.9%
	品目	運搬機械	-32.4%	-195.8%
		半導体・フラットパネル製造装置	-6.4%	-151.2%
	2位の業種	電気機械工業	-2.9%	-193.6%
	品目	回転電気機械	-6.9%	-74.5%
		配線・照明用器具	-12.4%	-69.6%
	3位の業種	化学工業（除. 医薬品）	-1.5%	-150.8%
品目	合成ゴム	-12.4%	-57.5%	
	石けん・合成洗剤・界面活性剤	-4.7%	-53.0%	

寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注)全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

平成28年10月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（全体・財別）

<全体>

		品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を上昇方向 に引っ張った3品目	1位	乗用車	2.3%	175.7%
	2位	電子部品	4.2%	164.4%
	3位	集積回路	4.6%	136.7%
鉱工業生産を低下方向 に引っ張った3品目	1位	運搬機械	-32.4%	-195.8%
	2位	半導体・フラットパネル製造装置	-6.4%	-151.2%
	3位	電子計算機	-6.9%	-80.3%

<財別＝用途別>

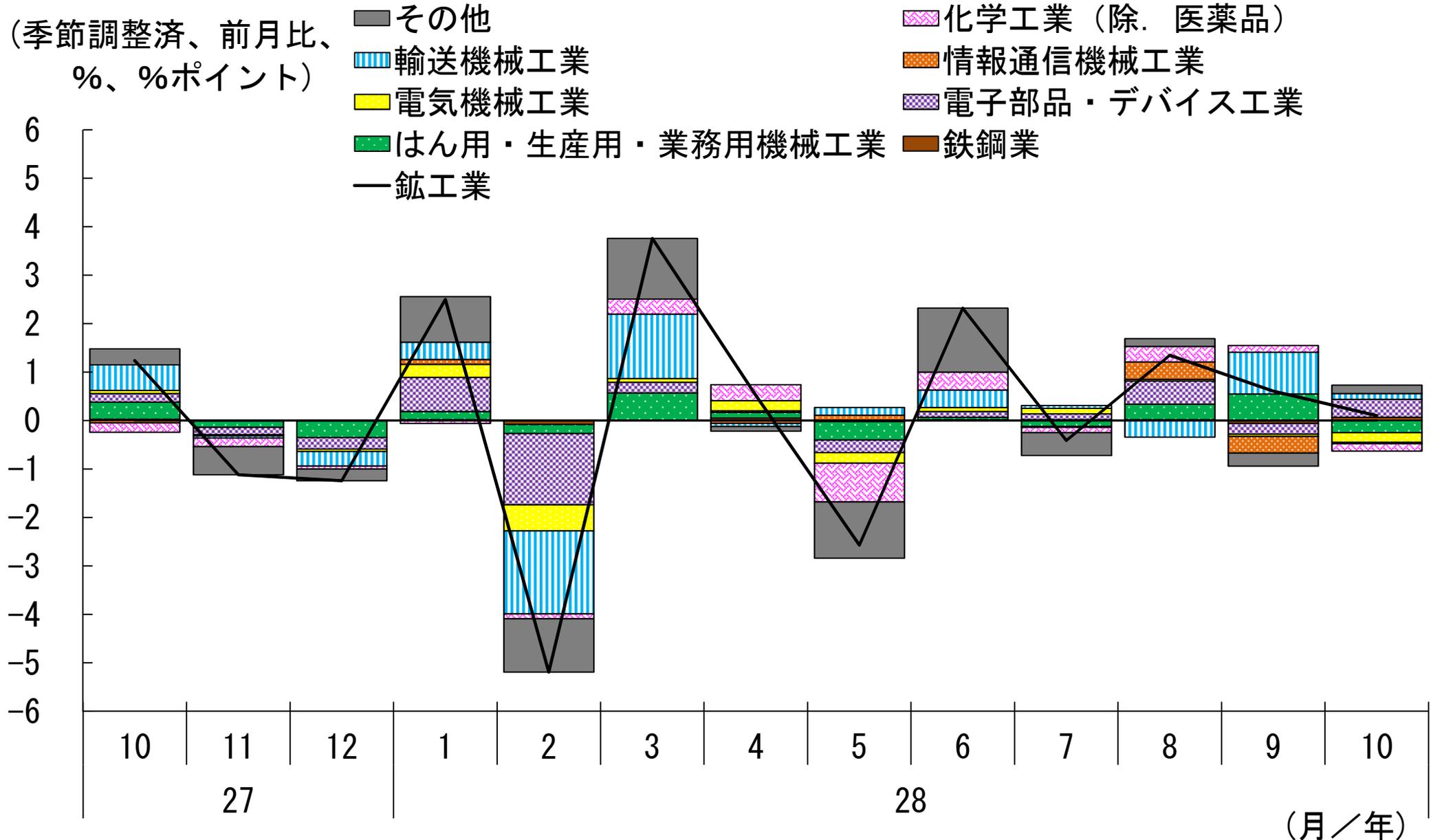
	解説	品目名	前月比	寄与率
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	3.8%	197.3%
		橋りょう	39.6%	81.6%
		鉄骨	6.7%	20.2%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	1.3%	131.5%
		普通乗用車	2.7%	132.4%
		小型乗用車	12.8%	124.8%
生産財	原材料として投入される製品	生産財	0.1%	50.5%
		モス型半導体集積回路（メモリ）	14.4%	163.3%
		シャシー・車体部品	3.1%	47.1%
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	0.0%	0.0%
資本財 （除. 輸送機械）	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財（除. 輸送機械）	-1.1%	-167.1%
		半導体製造装置	-15.8%	-331.3%
		クレーン	-61.7%	-96.9%

寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

（注）全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

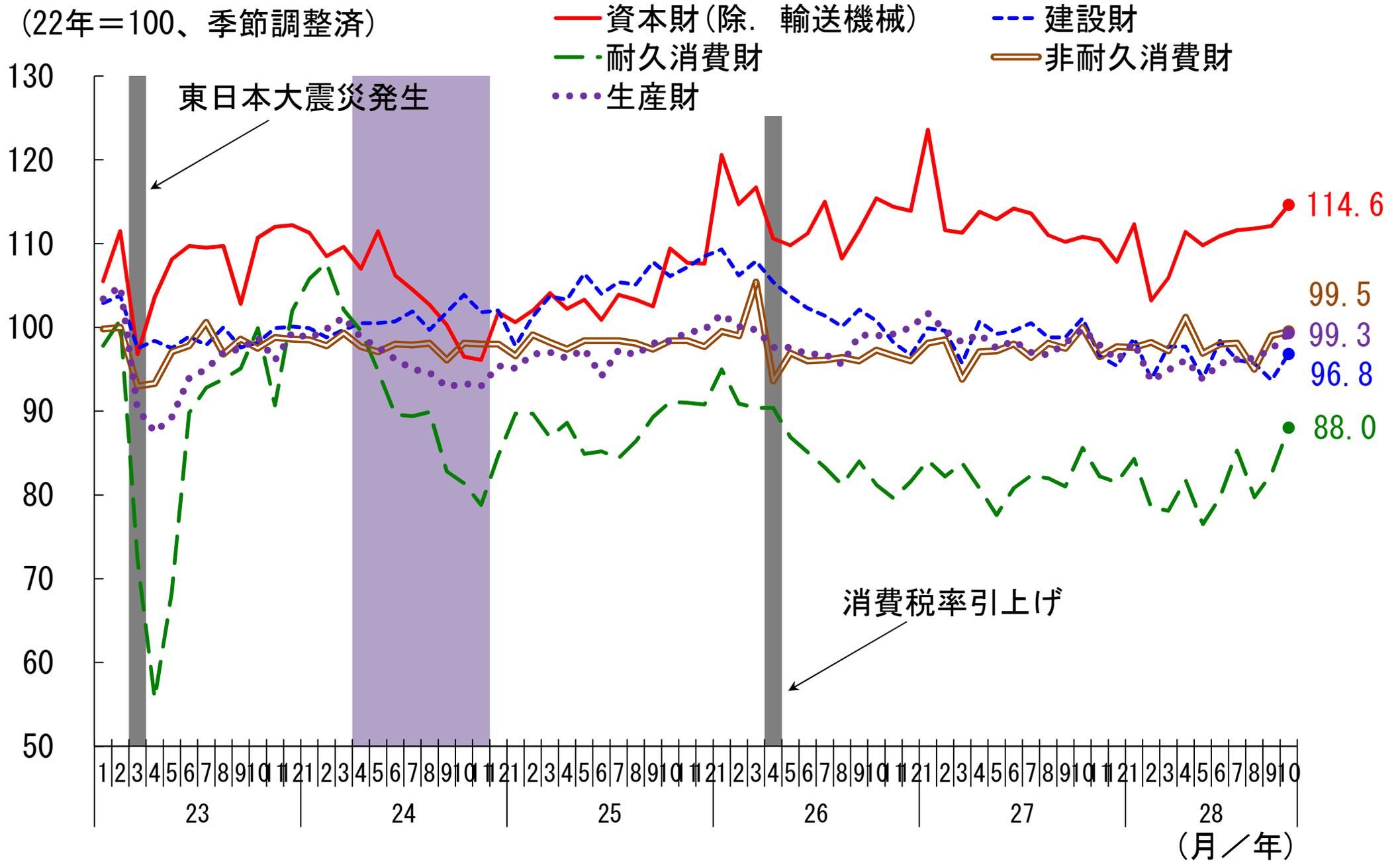
鋳工業生産指数への業種別寄与度分解

- 平成28年10月の生産指数は、はん用・生産用・業務用機械工業などが低下したものの、電子部品・デバイス工業などが上昇したため、前月比0.1%の上昇。



財別出荷指数の動向

(22年=100、季節調整済)



(注) 紫色のシャド一部分は、景気後退局面。

平成28年10月の鉱工業出荷指数を大きく動かした品目(財別)

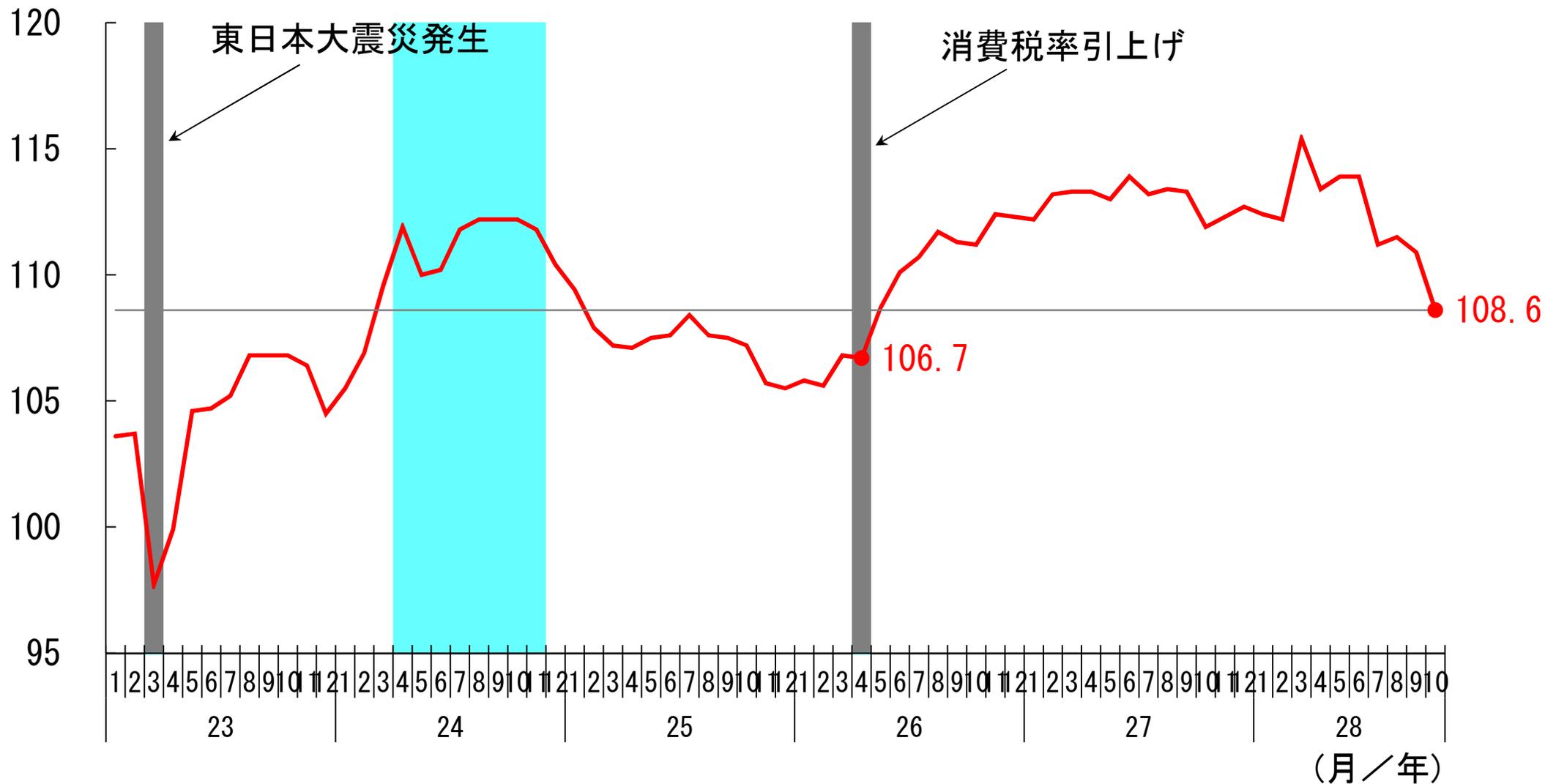
	解説	品目名	前月比	寄与率
生産財	原材料として投入される製品	生産財	2.0%	45.5%
		モス型半導体集積回路(メモリ)	24.5%	9.5%
		特殊鋼熱間鋼管	58.4%	3.6%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	6.7%	39.9%
		普通乗用車	8.6%	27.8%
		小型乗用車	5.7%	4.4%
資本財	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財(除. 輸送機械)	2.2%	14.0%
		水管ボイラ	642.5%	20.5%
		フラットパネル・ディスプレイ製造装置	47.7%	7.2%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	3.3%	8.1%
		橋りょう	38.7%	3.2%
		H形鋼	18.2%	1.2%
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	0.5%	2.8%
		ガソリン	5.4%	4.2%
		灯油	15.9%	1.3%

寄与率：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、財別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

鋳工業在庫指数の動向

- ・平成28年10月の在庫指数は、108.6(前月比-2.1%)と2か月連続の低下。
- ・平成26年4月の106.7以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)

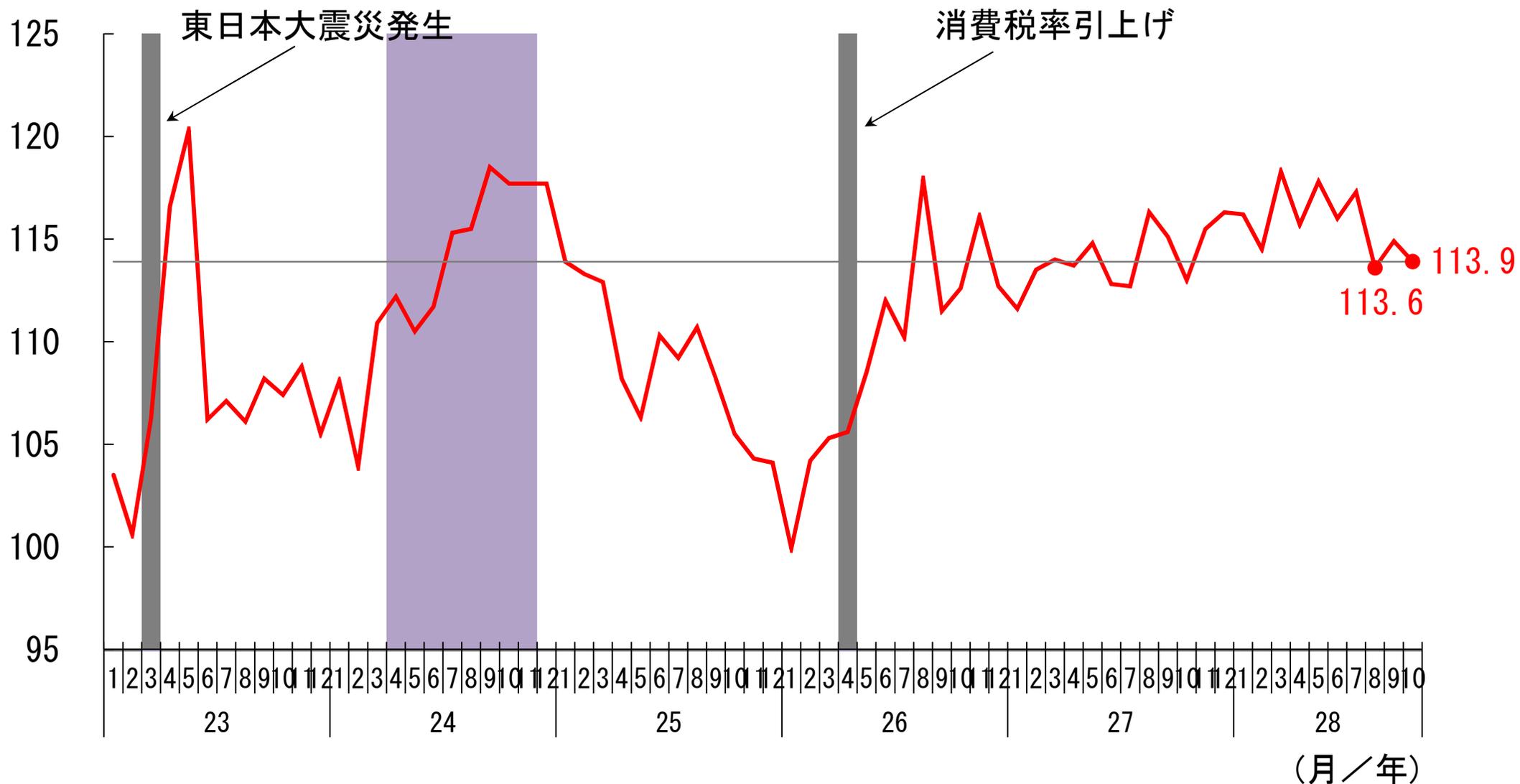


(注)水色のシャド一部分は、景気後退局面。

鋳工業在庫率指数の動向

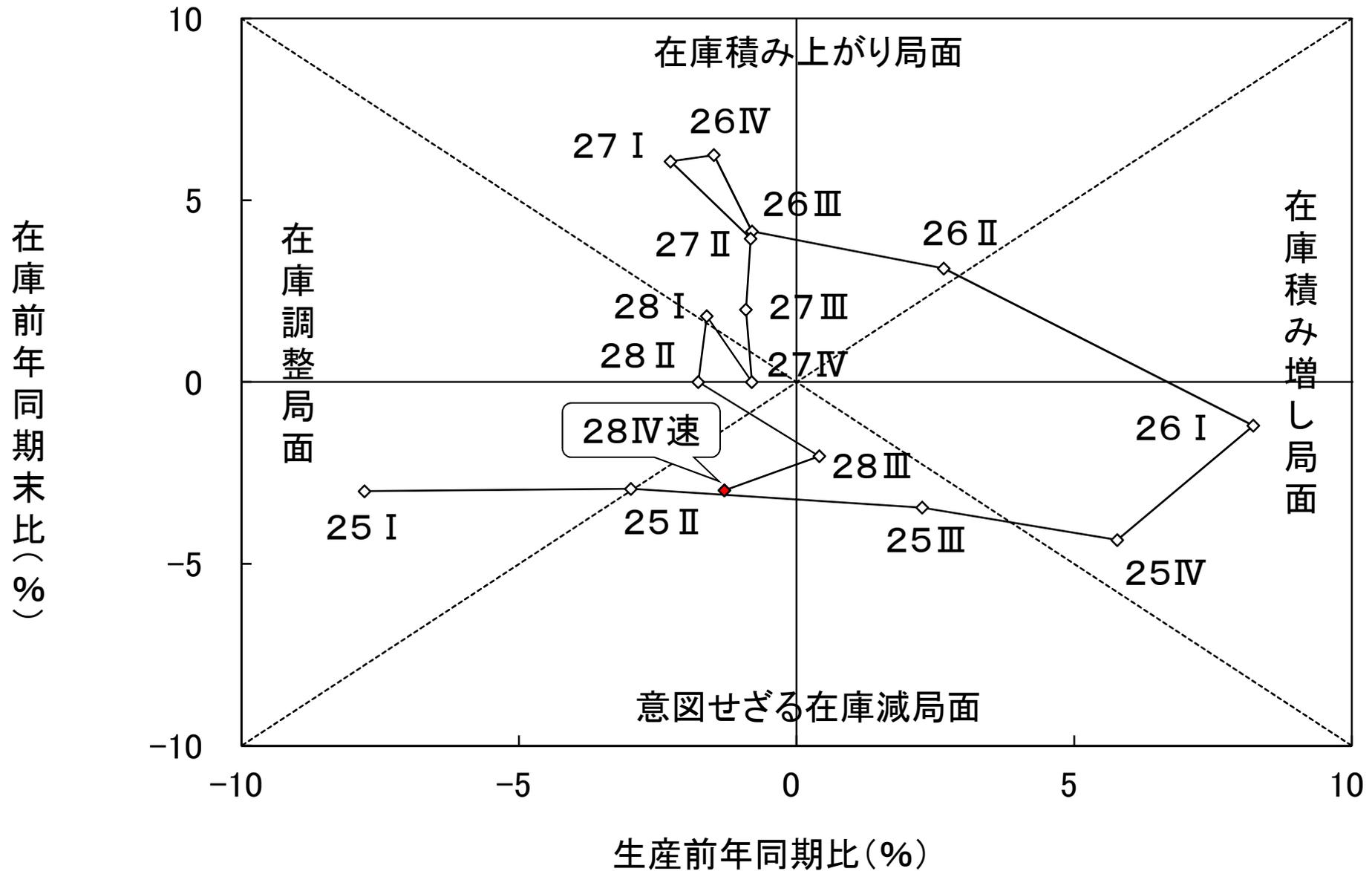
- ・平成28年10月の在庫率指数は、113.9(前月比-0.9%)と2か月ぶりの低下。
- ・平成28年8月の113.6以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



(注) 紫色のシャド一部分は、景気後退局面。

鋁工業の在庫循環図



(注) 「28IV速」は10月値を使用。

製造工業生産予測指数

11月、12月の2ヶ月の生産予測伸び率

